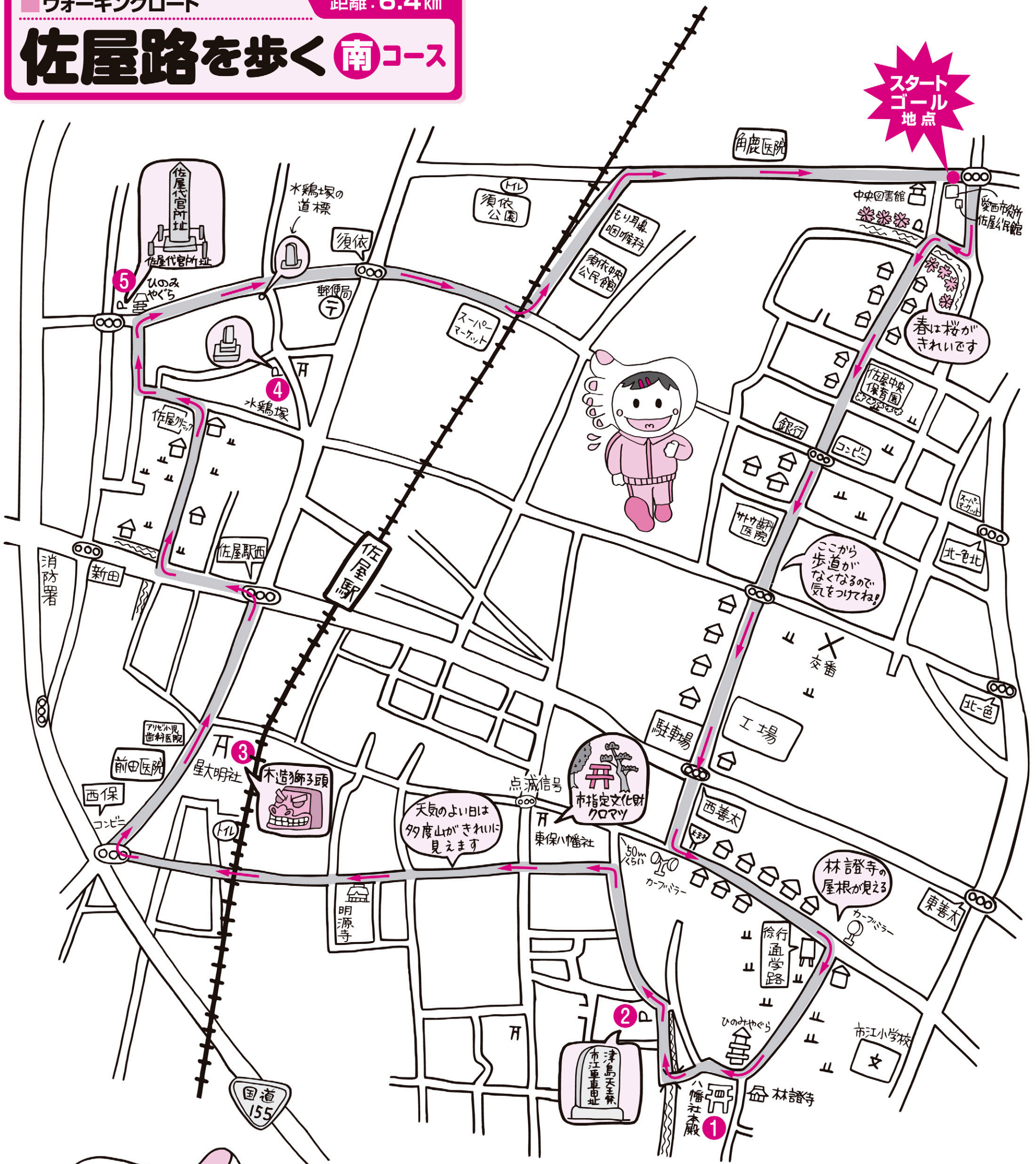


# 佐屋路を歩く 南コース

スタート  
ゴール  
地点



## 【史跡】

### ① 八幡社本殿

建築様式が一間社流造りとなっています。祭神は応神天皇で文明2(1470)年に再建されていることから更に約80余年前に創建されたと考えられています。隣接する勝軍延命地蔵は17年に1度開帳され、毎年行われる初地蔵は大勢の人で賑わいます。

### ② 市江車車田址

江戸時代、津島天王を篤く信仰していた尾張藩士は、朝祭りの中心となる「市江車」に53石余の土地を与え、この田地からの年貢収入を市江車の一切の費用に当てることができるよう保護しました。

### ③ 星大明社

目に効く神様として信仰されています。永年7(1510)年に製作された木造獅子頭があります。

### ④ 水鶏塚

俳聖松尾芭蕉が、江戸から故郷伊賀の国への帰郷の途中に、佐屋の門人であった素覧亭に逗留した折に詠んだといわれる「水鶏鳴くと人のいへばや佐屋泊」の句。この句碑は、その場に同席した俳人たちが芭蕉の遺徳をしのんで建てたといわれています。

### ⑤ 佐屋代官所址

佐屋に元禄8(1698)年奉行所が設置され、ついで天明元(1781)年に代官所が置かれました。代官所址の碑は昭和60年10月にこの地に建てられました。